

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階、(内)9802
3rd Floor, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

中級前半レベルの能力養成を目的とする。
・科学技術に関する記事を読む能力、その内容について説明する能力、文章にまとめる能力を養成する。

【授業キーワード】

説明能力、構成能力、文章作成能力

【授業内容及び授業方法】

授業ごとに新聞記事を資料に取り上げ、その資料をペアまたはグループで、音読作業、意味の確認、課題作業、討論を行った後、レポートを作成し、提出する。

【授業項目】

1. ガイダンス(1回)
2. 資料分析と討論(14回)
音読、意味の確認、課題作業、討論、レポート作成

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

【成績の評価方法と評価項目】

口頭発表と提出物に基づき、成績評価を行う。

【留意事項】

初級修了者を対象とする。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853
Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本語の初級が終わった人に対して、中級レベルの授業をします。
この授業を受ける人は、日本語能力試験N3ぐらいのレベルをめざします。

【授業キーワード】

Intermediate Japanese, Reading comprehension, Grammar, Speaking, Composition

【授業内容及び授業方法】

教科書を使って、読解、文法、会話、作文を勉強します。

【授業項目】

2回の授業で1課ずつ進みます。

【教科書】

『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期』スリーエーネットワーク 2310円

【成績の評価方法と評価項目】

宿題、出席など 30% 期末試験 70%

【留意事項】

教科書は必ず買ってください。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853
Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

中級前期～中期レベルの学習者(日本語能力試験N2レベルをめざしている人)を対象に、アカデミック・ジャパニーズの能力を高めるために、論理的な考え方を身に付けることを目的とする。

【授業キーワード】

アカデミック・ジャパニーズ、論理的な考え方、発想力、読解力、表現力

【授業内容及び授業方法】

教科書を使って、発想力(自分の意見が言えるように、言葉や表現を豊かにする)、読解力(絵、図、表などからの情報を正しく理解する)、表現力(自分のオリジナルの意見や主張ができる)を身に付けるためのトレーニングする。受講者数によるが、グループでディスカッションをしながら授業を進める予定。

【授業項目】

第1回 授業の計画について
第2-3回 発想力のトレーニング
第4-8回 読解力のトレーニング
第9-14回 表現力のトレーニング
第15回 まとめ

【教科書】

『大学・大学院留学生のためのやさしい論理的思考トレーニング』アルク 2100円

【成績の評価方法と評価項目】

宿題、出席など 30% 期末試験 70%

【留意事項】

1. 教科書は必ず買うこと。
2. この授業を受ける者は、日本語1を取ることはできない。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853
Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

中級前期～中期レベルの学習者(日本語能力試験N2レベルをめざしている人)を対象に、アカデミック・ジャパニーズの能力を高めるために、論理的な考え方を身に付けることを目的とする。

【授業キーワード】

アカデミック・ジャパニーズ、論理的な考え方、発想力、読解力、表現力

【授業内容及び授業方法】

教科書を使って、発想力(自分の意見が言えるように、言葉や表現を豊かにする)、読解力(絵、図、表などからの情報を正しく理解する)、表現力(自分のオリジナルの意見や主張ができる)を身に付けるためのトレーニングする。受講者数によるが、グループでディスカッションをしながら授業を進める予定。

【授業項目】

第1回 授業の計画について
第2-3回 発想力のトレーニング
第4-8回 読解力のトレーニング
第9-14回 表現力のトレーニング
第15回 まとめ

【教科書】

『大学・大学院留学生のためのやさしい論理的思考トレーニング』アルク 2100円

【成績の評価方法と評価項目】

宿題、出席など 30% 期末試験 70%

【留意事項】

1. 教科書は必ず買うこと。
2. この授業を受ける者は、日本語1を取ることはできない。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階、(内)9802
3rd Floor, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

上級レベルの総合的な能力の養成を目的とする。特に、1つの話題について正確に描写して伝える言語技術の習得を目指す。

【授業キーワード】

話技能、聴技能、書技能、語彙力、発表能力、説明能力

【授業内容及び授業方法】

ペアとグループによる教室活動を通じて、各週の課題を達成していく。

【授業項目】

- 第1週 ガイダンス、レベルチェック
- 第2週 自己紹介
- 第3週 きっかけを語る
- 第4週 なくした体験を語る
- 第5週 町の様子を描写
- 第6週 動きの順序の描写
- 第7週 スポーツを語る
- 第8週 言いかえによる説明
- 第9週 比較による特徴の説明
- 第10～11週 ストーリーを話す
- 第12週 最近の出来事を話す
- 第13週 健康について話す
- 第14～15週 将来の夢を語る

【教科書】

『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク

【参考書】

なし。

【成績の評価方法と評価項目】

口頭発表と課題提出物により評価する。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階305

【授業目的及び達成目標】

日本語の文章を正確に読むための技術を学ぶこと。

【授業キーワード】

1文理解、文連鎖理解、文章展開

【授業内容及び授業方法】

毎回、正確に読むために必要な技術を説明、文章を読みながら学んでいく。

【授業項目】

1. 文の構造
2. 視点の取り方
3. 前件と後件の論理的・時間的關係
4. 指示詞の指すもの
5. 省略
6. 文末表現
7. 筆者の立場の把握

【教科書】

『留学生のための読解トレーニング』(スリーエーネットワーク)

【成績の評価方法と評価項目】

発表と課題提出物に基づき評価する。

【留意事項】

この科目を履修する者は日本語IとIIを履修することはできない。

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

経営情報棟508
TEL/FAX 0258-47-9856

【授業目的及び達成目標】

本学における日本語による講義の理解に不自由のない日本語の読み・書きの能力を養成する。
日本語の論文が読めるようになる能力を養う。

【授業キーワード】

日本語上級レベル、日本語能力試験1級合格者対象

【授業内容及び授業方法】

毎回、漢字と語彙に関する宿題が出される。
教科書を中心に上級レベルの文章の読解を行う。

【授業項目】

1. 論文購読
2. エッセイの要約
3. レポート、エッセイの書き方
4. カタカナ語彙、漢字語彙、慣用句の積み上げ
5. ディベート、クラス討論
6. パワーポイントを使ってのプレゼンテーション
7. 映画、ビデオを見て内容をまとめる

【教科書】

授業で指定する。

【参考書】

授業で指定する。

【成績の評価方法と評価項目】

出席、宿題の提出状況、プレゼンテーションをはじめとする各課題の成績

【留意事項】

遅刻、欠席は減点の対象となる。この科目を履修する者は日本語科目1から3の履修は認められない。
高度な日本語力を必要とするので、能力試験1級以上の学生を対象とする。

【参照ホームページアドレス】

http://
なし

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階305

【授業目的及び達成目標】

日本語の基礎的な論文を読み、内容を要約できるようになること。

【授業キーワード】

説明能力、文章能力、要約能力

【授業内容及び授業方法】

1. 毎回、基本的な論文を読み、論文のスタイルを学びながら、要約練習を行う。
2. 要約した文章を発表し、添削する。

【授業項目】

1. 文法、文字、語彙
2. 論文スタイル
3. 論文表現
4. 要約文の書き方

【教科書】

『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』(スリーエーネットワーク)

【成績の評価方法と評価項目】

発表と課題提出物に基づき評価する。

【留意事項】

この科目を履修する者は日本語科目1から3の履修は認められない。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853

Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

1. 日本の文化、歴史、地理、政治経済、時事問題、スポーツなど、様々なジャンルを題材にして、関連語彙・表現の拡充を図るとともに、ディスカッション能力および分析能力を身に付ける。
2. 与えられた題材をもとに、関連する情報を収集し、人にわかりやすく伝える能力を養う。

【授業キーワード】

語彙・表現、ディスカッション、情報収集能力、分析能力、プレゼンテーション

【授業内容及び授業方法】

配付資料を使って、授業を進める。配付資料の内容は以下のとおり；

1. ニュースの日本語
2. 日本、日本語に関するクイズ
3. マンガで学ぶ日本語表現、日本事情
4. 身近な生活の中の日本語、日本事情
5. 時事問題
6. 日本のビジネス事情
など。

以上をもとに随時ディスカッションを行う。また、授業やディスカッションを参考にしながら、自分でトピックを決め、最終的にプレゼンテーションを行う。

【授業項目】

- 第1回 授業計画について。イントロダクション
第2～8回 上述の配付資料にもとづいた授業
第9～15回 プレゼンテーションとディスカッション

【教科書】

授業時に資料を配付する

【成績の評価方法と評価項目】

平常点(宿題、出席など) 30%
プレゼンテーション 70%
評価のポイントについては、授業内で説明する。

【留意事項】

この科目を受講する者は日本語1,2,3を受講することはできない

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階、(内)9802
3rd Floor, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

上級レベルの日本語能力の養成を目的とする。

- 1) 日本の政治・社会・経済・文化に関する話題や日本と外国に関わる様々な問題に関して理解を深める。
- 2) 客観的分析力・論理的思考力、相手の意見を聞く能力と日本語による討論能力の養成を行う。

【授業キーワード】

討論能力、分析能力、文章作成能力

【授業内容及び授業方法】

授業ごとに新聞記事を資料に取り上げ、その資料をペアまたはグループで、音読作業、意味の確認、課題作業、討論を行った後、レポートを作成し、提出する。

【授業項目】

1. ガイダンス(1回)
2. 資料分析と討論(14回)
音読、意味の確認、課題作業、討論、レポート作成

【教科書】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

口頭発表と提出物に基づき成績を評価する。